

高山市新型コロナウイルス総合窓口の対応状況について

1. 受付状況について

※上段：4/16～9/30 5. 5か月間 下段：《 9/16～9/30 9日間 》

①対応件数 延べ9,691件（1日平均73件）
 《 198件（1日平均22件） 》

*うち、窓口4,608件(48%)、電話4,658件(48%)、メール103件(1%)、資料交付322件(3%)

《 窓口114件(58%)、電話82件(41%)、メール2件(1%) 》

[資料交付：県休業要請に対する協力金関係資料を渡すのみの対応]

②相談等項目別集計 延べ11,040件（1日平均83件）
 《 233件（1日平均26件） 》

区分	主な内容	件数（割合）	
事業者向け 給付・助成	県：休業要請に対する協力金（資料交付含む）	953(9%) 《0(0%)》	4,062 (37%) 《93 (40%)》
	市：家賃等に対する助成など	2,487(22%) 《81(35%)》	
	国：持続化給付金、家賃支援給付金など	622(6%) 《12(5%)》	
事業者向け融資	セーフティーネット保証認定、利子・保証料補給	1,106 (10%) 《7 (3%)》	
納付猶予・減免	市税、国民健康(介護)保険料、上下水道料	475 (4%) 《13 (6%)》	
個人向け給付	市：特別定額給付金、子育て世帯応援給付金	3,412(31%) 《2(3%)》	3,431 (31%) 《3 (4%)》
	国：休業支援金・給付金	19(0%) 《1(1%)》	
事業者の 雇用継続	雇用調整助成金	215 (2%) 《6 (2%)》	
個人向け貸付	緊急小口資金、福祉金庫資金	175 (2%) 《7 (3%)》	
市内消費喚起	プレミアム付き商品券、市内宿泊施設利用助成	809 (7%) 《103 (33%)》	
その他	感染拡大防止、支援等の要望、市営住宅関係など	767 (7%) 《23 (9%)》	
合計		11,040 (100%) 《233 (100%)》	

※複数の相談を受けた場合、それぞれに計上

③傾向や特徴

<市内消費喚起>

- ・プレミアム付き商品券に関する対応件数は延べ788件で、9月下半期は76件（33%）と7月の販売開始から最も少ない件数となった。
- ・購入に必要となる申込書の紛失や郵便物の不着に関する問い合わせがほとんどで、販売終了となった9月末日まで問い合わせがあった。

<特別定額給付金関連>

- ・延べ対応件数は3,390件で全体の31%を占めるが、9月下半期は7件のみである。
- ・申請期限が延長されているか、高齢世帯の家族が申請しているかなどの確認の問い合わせがあった。

【参考】特別定額給付金手続き状況

(1) 申請開始

- ・オンライン申請 5月1日(金)～
- ・郵便申請 5月11日(月)～
- ・申請期限（延長後）10月12日(月) ※郵便申請のみ

(2) 給付開始

- ・オンライン申請 5月8日(金)～
- ・郵便申請 5月20日(水)～

(3) 給付状況（9月30日時点）

	郵便申請	オンライン申請	計	給付率
給付決定	34,971件	943件	35,914件	99.8%
	84,619人	2,438人	87,057人	99.9%

給付金額 約87億1千万円

*受給対象者数 35,998世帯、87,156人

〈事業者関連〉

- ・ 9月下半期の事業者向け給付・助成に関する対応件数は、93件(40%)と相談区分の中で最も件数が多くなっている。
- ・ 相談内容としては、市の事業者向けの助成に関するものが大半を占め、感染防止おもてなし補助金（旧観光振興事業補助金）が32件と最も多く、次いで商業機能持続化補助金（家賃・テナント料への助成）が31件、新ビジネス創出応援補助金が17件となっている。
- ・ 申請書類の提出や対象経費の可否に関する問い合わせのほか、事業完了による実績報告書の提出などの相談もあった。

〈個人、労働者関連〉

- ・ 当面の生活資金を確保するための緊急小口資金貸付などの相談は、9月上半期の7件に対し、9月下半期は8件と横ばいが続いている。

問 合 先	
担当課	新型コロナウイルス総合窓口 (企画部 企画課)
課長	北村 幸治
係長	前田 研治 担当 小椋 直
連絡先	電話 (直通 0577-36-0024) (内線 2097)